

今号の内容

・協議会の動き	1
・各活動グループの動き	2
・地域のトピックス	2
・生き生き伊深人（西村朝子さん）	3
・巻末雑感（大矢 修さん）	4

ホームページアドレス: <http://ibukamachi.com>

(左: 晴天下の稲刈り 大洞で)

## ■ 協議会の動き

### 自治会館・コミュニティ施設などについての協議を重ねています

7月、8月の定例会では、かねてから課題となっている、伊深自治会館・新コミュニティ施設に関する議論を深めるため、新たに設置した「自治会館管理委員会」「コミュニティ建設推進委員会」の実施状況について協議したほか、保育園の統合準備状況などについて報告を受けました。また、伊深小学校の状況についても、学校から白木教頭先生に出向いていただき報告を受けました。

#### ■ 自治会館管理委員会の検討状況

- 7月26日に第1回を開催。
- 自治会館を利用している団体の代表者が出席し、利用状況などについて協議しました。
- これまで地元での利用は基本的に無料となっていたものを、有料化する方向で検討することとなりました。
- 特に耐震性など安全面での懸念があるなか、大規模修繕については来年3月末までにまとめられる建物診断結果の報告を待って本格的に検討することになりました。



#### ■ コミュニティ建設推進委員会

- 8月5日に第1回を開催。
- 20代～50代の幅広い年代層から10人程度を選任し、まず自由な発想でコミュニティ施設のプランを語ってもらいました。
- 今後2回程度開催し、地域としての考えを集約し、市政懇談会などに反映させていくことにしました。

#### ◆三和・伊深保育園の統合にむけた準備状況

- 決まったこと…伊深保育園のトイレ一部洋式化、ホールの暖房対応、三和の園児の送迎方法など。
- 協議検討中…統合後の園の名称、三和保育園の後施設利用方法、伊深・三和それぞれの地域行事への参加方法など。



#### ◆伊深小学校の最近の状況（学校より）

- あいさつ運動、田植え、伊深っ子クラブなど地域の方々のご協力に感謝している。
- ユニバーサルデザイン化として、誰にでもよく分かる、よくできる授業をめざして国語の授業を中心に進めている。
- 7月に1名の転入があり、現在の児童数は58名。
- ただ、来年度は再び57名の予定で、5・6年度の複式化がさけられない状況にある。(複式化は26年度だけで、その後29年度までは単式の予定)

当協議会のホームページが開設1周年で6000アクセスを超えました。

昨年8月10日に開設して以来、1年間で延べ約6000人の来訪者がありました。さらに内容の充実に努めてまいります。



## ■ 各活動グループの動き

協議会内で個別テーマに取り組んでいる活動グループの最近の動きを紹介します。  
(代表者の敬称略)

### 子どもの居場所づくりグループ 代表：佐野 綾目

○育てていた麦が約5升収穫でき、粉にしたあとパンを作りました。

### 伊深の里の標柱づくりグループ 代表：福田美津枝

○埋設部を固定するボルト用穴あけ作業を委託して行いました。



### 小学校稲作体験支援グループ 代表：佐野 綾目

○ほぼ順調に生育し、穂が垂れ始めています。



### 保育園畑作体験支援グループ 代表：大矢 伸司

○いちごのランナー、豆類がほぼ順調に生育しています。



### 環境美化グループ 代表：井上美恵子

○短大下の花壇を毎月第1日曜日に手入れしています。

※その他の活動グループは特にありませんでした。

## ■ 地域のトピックス

地域内での最近のトピックスを紹介します

### 7月7日、伊深町野球大会が行われました

7月7日、真夏を思わせる日差しのなか、伊深町野球大会が行われました。その結果、

第1試合 上切・大洞×関也 5：1

第2試合 本郷野地糠亀×関也 5：1

決勝戦 上切・大洞×本郷野地糠亀 0：7

と、一昨年の自治会野球の優勝チーム「本郷野地糠亀」が貫録勝ちし、8月に始まる今年の自治会野球に期待がふくらむ内容となりました。



### 8月13日、伊深町納涼盆踊大会が行われました

実行委員会主催による伊深町納涼盆踊大会が8月13日、消防団詰所西の駐車場を会場に行われました。

今年は猛暑のなかでの開催となったため、おおぜいの人出があり、各団体が主催する出店も行列ができるほどの盛況ぶりでした。

会場のあちこちでは、普段からの仲間で盛り上がり、久しぶりに再会する友人どうしで話が弾む光景が見られました。

メインの盆踊りは「伊深音頭」や「エゲン坊」など伊深ゆかりの



踊りが取り入れられたほか、美濃加茂踊り保存会の皆さんの盛り上げで踊りの輪が広がりましたが、人出の割には参加者が少なく、残念でした。



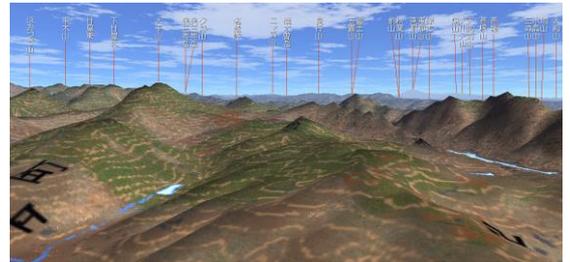
### 「大平山」の山名表示を求める要望書を提出

かねて、まち協だよりやホームページでお伝えしていた「大平山」の山名表示を求める件で、このほど手続きに必要な要件が整い、8月28日までに市から国（国土院）に要望書が提出されました。

「大平山」については地元では伊深最高地点の山として広く認知されていますが、これを証する文献的な裏づけが乏しく、このほど、佐野一彦氏の「伊深日記」に記載があることがわかり、これにより提出にこぎつけたものです。審査の結果は予断を許しませんが、伊深の地図上の空白を埋めるステップとして期待したいものです。

▼大平山

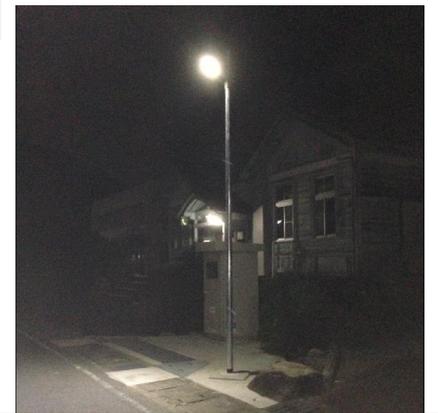
高木山▼



### 自治会館前の小水力発電施設が完成 9月10日に通電式を開催

伊深自治会館前で設置工事が進められていた小水力発電施設がこのほど完成し、来る9月10日に「通電式」が開催される運びとなりました。

※ 施設の詳細などについては通電式後に当協議会ホームページなどで紹介します。



## 生き生き 伊深人

地域内で生き生きと活躍されている伊深人を紹介します

第3回

西村 朝子さん

関也/昭和18年生  
まれ/69歳



Q 伊深で「踊り」といえばまず西村さんのお名前が浮かぶほどイメージが強いんですが、もうお長いんですか？ 私は踊りでも、もともと日本舞踊の方で、民謡踊りはやっていなかったんです。姑が伊

深民謡会というのを主宰していて、それを引き継いでから20年近くになります。

Q 日舞から盆踊りのほうに向かわれたきっかけは？ ずっとNTTに勤めていて、姑が80歳になったとき、定年前の51歳でしたが、それを潮に退職したんです。踊りの方はそれまで「名取り」まで取っていたんですが、さらに上の「師範」の資格を取ろうと稽古に集中したのもこのころでした。そして、民謡会の方も姑から引き継ぐことにしたんです。

Q 伊深の民謡会の現在はどうな状況ですか？ 昭和50年ころに始まって最盛期には30人くらいの参加があるほど盛んだったようですね。その後8人

です。ずっとやってきて第30回の発表会までやったんですが、残念ながら高齢化などで人が減り、今は会員3人で続けています。

**Q** 盆踊りの良さはどんなところですか？ 何といても気軽に楽しめることじゃないでしょうか。それと自然に体が動かせて健康にもいい。私は伊深以外のところでも教えていますが、80過ぎの方もたくさんおられます。いわば「健康体操」のようなつもりでもやっておられるんですが、それでいいと思っています。

**Q** 若い方の参加はどうでしょうか？ 若い方にはテンポの速い曲が好まれるようですが、どんな曲でもとにかく楽しんだらいいと思いますよ。今年の伊深の盆踊りでは「日本ワッショイ」というテンポのいい曲を紹介したら、子供たちが随分参加してくれました。

**Q** ところで盆踊り以外のご趣味は？ 社交ダンスも好きでやっています。背筋がピンと伸びて健康に良いですよ。

**Q** これからの夢はありますか？ 特に子供たち。学童や伊深っ子クラブでも教えていますが、まだまだ子どもたち相手に少しでもファンを増やしていきたいですね。ただ、今の子どもたちは基本的なこと

がしつけられていないので、その辺から始まりですけどね（笑）。



◀民謡会の仲間に指導する西村さん



## ●巻末雑感●

※住民の皆さまからの投稿を歓迎します。

### 「伊深に生きるということ」

委員（伊深保育園保護者会長） 大矢 修

高校卒業後、15年間を他の地域で暮らし、今から11年前に伊深に戻ってきました。

子どものころは田舎がいやで、都会で暮らしたいと思っていましたが、実際に暮らしてみると、生活するには便利で人情が感じられる場面は多々ありました。

しかし、根っからの田舎ものである私には都会の喧騒、土の見えないアスファルトだらけの生活、また一人暮らしでしたので、それぞれ地域の地域活動へ参加しなかったことで、ひどく疎外感を感じていました。

伊深に戻ってからもなかなか地域の活動に参加する機会もなかったのですが、この度保育園の保護者会会長の任を仰せつかり、まちづくり

協議会に参加させて頂くことになりました。

来年度の三和保育園・伊深保育園の統合を控え、協議会では主に統合準備の進捗状況を報告させて頂いております。

保育園は地域の行事には文化祭を始め、地域の各種行事に参加しており、保育園の統合はまちづくりという面でも少なからぬ影響があると思っています。

今年の3月に来年度の統合が決定した後、4月から市・保育園の先生方・三和と伊深の保護者会の方々に何度も協議を重ねておりますが、何分急な決定だったことでまだ解決できていない問題も多く残っております。

今後も何度も話し合いをしていく必要があるのですが、まちづくり協議会・地域の各団体・地域の皆様のお力添えも頂きながら、保育園の統合が三和・伊深両地域に結果として良い方向に向かうよう、尽力して参りたいと思います。